

4月号他ページの主な記事
2面 青春のタベストーリー4のお知らせ、乗泉寺で合同教務大会
3面 体験談：日戸悠壯君 佐伯圭介氏、大僧正日峰上人27回御忌
4面 弘通促進の大会・口唱会 日裔上人の新春放談④
5面 権大僧正列伝④
6面 オリジナル誓願の花を咲かせよう体験談 5支・乗泉寺 庄司治孝氏
7面 樺太ご弘通の足跡を辿る①、ニュース・アイ
8面 佛立開導日扇聖人物語 第16回、ニュース短信

佛立新聞 THE BUTSURYU SHIMBUN

平成28年4月1日発行
発行所 本門佛立宗務本庁
京都市上京区御前通一条上東町110番地(〒602-8377)
電話(075)461-1166(代)
振込口座 京都 18650
発行人 永江日盡 / 編集人 橋口清遠
購読料加料 一部50円

第211回定例宗会を開く
3月7日より9日まで宗務本庁宗会議場で

平成二十八年度の各種予算を承認
現山内御講有にとつては最後の宗会に

第二一回定例宗会が去る三月七日から三日間の会期で開かれ、主に平成二十八年度の宗務本庁経常費、佛立教育専門学校特別会計、その他の宗門諸機関の特別会計等の予算案を審議・議決した。また本年七月に任期を満了される現御講有に替わる次期講有上人の推戴会議が行われ、次期第二十六世講有に、僧正・熊本長薫寺前住職の高須日良導師が推戴された。

本山でのお看経の後、勤まります。弘通誓願の一同は本庁に移動し、昼食・休憩をはさんで議員点呼、開会宣言と続き、ご任期中最後の宗会を迎えられた講有・日開上人が御諭告に立たれ「開導聖人ご生誕二百年慶讃ご奉公の正念場である本年も三月に入り、いよいよ十月には慶讃本山法要が



宗会での最後となる御諭告を発せられる

次期講有上人の推戴会議を開く
佛立第二十六世に高須日良導師

佛立第二十五世講有・了に伴う次期講有上人の山内日開上人の任期ご満一推戴会議は、定例宗会第三日目の三月九日午前十一時より本山・宥清寺の本堂で厳粛裡に行われた。



開導聖人ご尊前で厳かに執り行われた推戴投票



次期講有 高須日良導師のご略歴

この度の次期講有上人の推戴手続きについては、昨年十二月に第一次の講有候補者推薦委員会で推薦された六名の候補者について、全国の各寺院住職・局長による推薦投票によって推薦された三名

の候補者、高須日良導師 ⑩長薫寺長谷川日堯導師 ⑤清流寺福岡日雙導師 ⑪香風寺

昭和三十五年十月二十九日、台湾高雄市で誕生。昭和35年8月、刈茅日鏡上人を師僧として、長薫寺で得度、「厚良」と僧名を賜る。昭和41年、立正大学を卒業。昭和56年に上座講師、平成8年に僧正ご昇晋。この間、昭和45年に長薫寺、同57年に菊池寺、平成4年に信薫寺の住職に就任。平成17年には長薫寺住職を嗣子・昭因師に継承された。宗門では教学講師、企画室室員、弘通局教養部長、教務局長(二期)、出版局長、弘通局長等の要職をご歴任された。

来る4月24日 本山門祖会奉修

本山・宥清寺では、来る四月二十四日(日)、四座にわたり門祖日隆聖人御開山会を奉修する。門祖は寛正五年二月二十五日、宝寿八十歳でご入滅あそばされた。ところで門祖日隆聖人は、高祖ご命日の翌日十月十四日にご生誕なされた。蓮師後身として上行所伝の正しい法義を再興あそばされた、この門祖聖人のご鴻恩に真心を捧げたものである。

Table with 3 columns: 座 (1座, 2座, 3座, 4座), 奉修時間 (7:00-8:00, 9:00-10:00, 11:00-12:30, 13:00-14:00), 奉修導師 (権大僧正, 小山日誠上人, 山内日開上人, 梶本日裔上人)

この御諭告をいただき宗会議長の川手日廣師が「開導聖人ご生誕二百年慶讃ご奉公、佛立開花運動の第四年度を迎え、ご正念場である一年を振り返り、言ひ訳のできないままに正念場です。全国布教区が慶讃法要・本山参詣を目指して弘通誓願達成の花束を必ずお供えさせていただきます様全布教区教講一同、日々

力を中心からお願ひ申しあげます」と述べられた。(基本方針は本紙新年号に掲載済み) この後、各局長から執務方針が発表され、三日間にわたる議事日程に入った。今宗会では予算案とされるだけに、当局から上程された十八の議案全てが各種予算案の審議となり、宗務本庁や佛立教育専門学校等の宗門諸機関の平成二十八年度の予算案等は、二日目で既に全て可決承認された。また出席議員より「特別委員会の設置」の提案があり、宗会として佛立センター特別委員会を設置することとなった。

新たな信心改良をさせていただきたく所存です。御講有現下におかれましては、今宗会のご臨席が総導師としての最後のご出席との事でございませぬ。茲に改めて一同甚深の感謝御礼を申し上げます。誠に有り難うございました」と宣誓並びに御礼を申し上げた。

一言

三月七日、女性差別の実施状況を審査する国連の女性差別撤廃委員会は、日本に対する勧告を含む「最終見解」を公表。前回、二〇〇九年の勧告以降の取り組みを評価する一方で、夫婦同姓や再婚禁止期間など、民法の規定について改正を求め「過去の勧告が十分に実行されていない」と厳しく指摘した。しかし、公表される前の段階で、天皇の皇位継承を男子のみと定めた皇室典範が「女性差別に当たる」と見直しを求める記述があった問題で、政府内から審査手続きが不透明と不満が出ている。皇室典範に関する記述は政府が抗議し、最終見解では削除されたものの、官房長官は九日の記者会見で、皇室制度は「歴史や伝統が背景にあり、国民の支持を得ている。女性に対する差別を目的としていない」と指摘した。男女の間には、地域や時代によって、差別なのか区別なのかという問題が繰り返る。人として二種類の性しかなく、男女がいなければ生物として繁殖できない以上、お互い同士の必要な存在だ。だから差別をする方が誤りなのだが、男女の違いがある以上、区別しなければいけないこともある。その兼ね合いが難しい。仏様は、全ての人が等しく成仏できることを示されそれを法華経で教えられた。御題目のご信心は、差別の無い、共に支え合う世界を目指す。身体の違いはあっても、人の魂は仏様と同じものなのだ。

4月のこよみ
1日 開導聖人ご生誕
8日 佛立教育専門学校平成28年度入学式
24日 本山門祖会(宗門式典)
24日 布教区青年会代表者会議
28日 立教開宗記念日
7日 世界保健デー
10日 女性週間(16日まで)
11日 メートル法公布記念日
12日 世界宇宙飛行の日
18日 発明の日
20日 郵政記念日
28日 立教開宗記念日
28日 開導聖人お心得
29日 昭和の日